

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<12週> 流行性角結膜炎は滋賀県で定点当たり報告数7.5、茨城県で3.4 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹流行状況> 2000年第12週(3月20日～3月26日)の報告患者総数は471で、定点当たり報告数は0.16である



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離報告 B型は広島市、福岡市、仙台市、大阪市より1件ずつ / 感染性胃腸炎 今シーズンのロタウイルス検出報告数は増加傾向に



IASRからの速報
P.6

日本のエイズ患者・HIV感染者の状況



海外感染症情報
P.7

コンゴ民主共和国でのマールブルグ病 続報 / デング熱、デング出血熱 東ティモール



感染症の話
P.8-10

ジアルジア症
典型的な糞 口感染によって起こる下痢性疾患で、国内では発展途上国からの帰国者や男性同性愛者間に多く感染がみられる



読者のコーナー
P.11



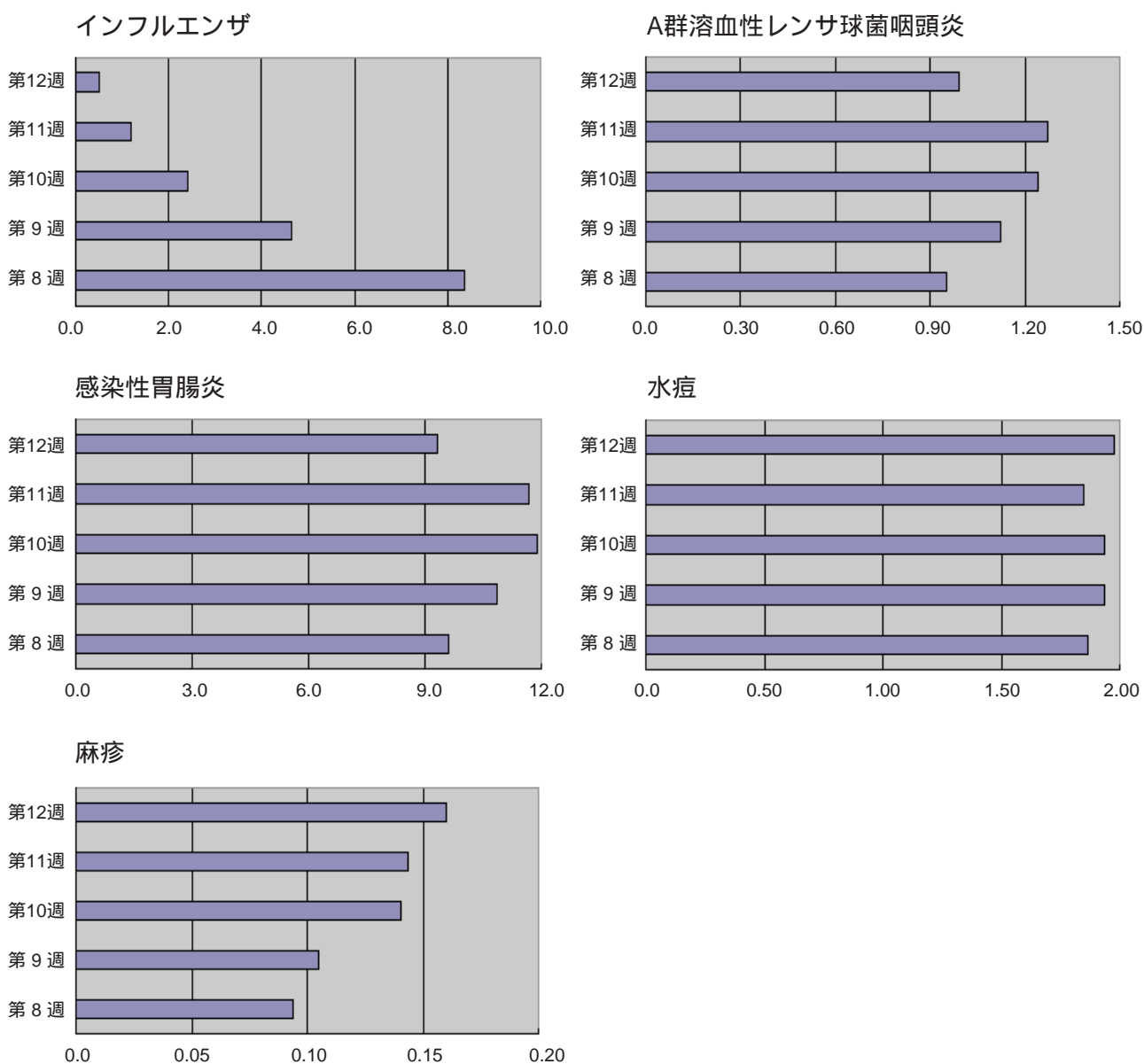
グラフ総覧(12週)
P.12-18



12週のデータ
P.19-26

最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザは、前週の定点当たり報告数が1.2、今週は0.5となっており、6週連続で前週より減少している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎は6週間ぶりに定点当たり報告数が前週より減少した。水痘の定点当たり報告数はほぼ横ばいとなっている。麻疹患者の定点当たり報告数は7週続けて前週を上回り、大阪府、香川県、千葉県、兵庫県、岐阜県などで患者報告数が多くなっている。麻疹は例年春にかけて患者数が増加するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

麻疹流行状況

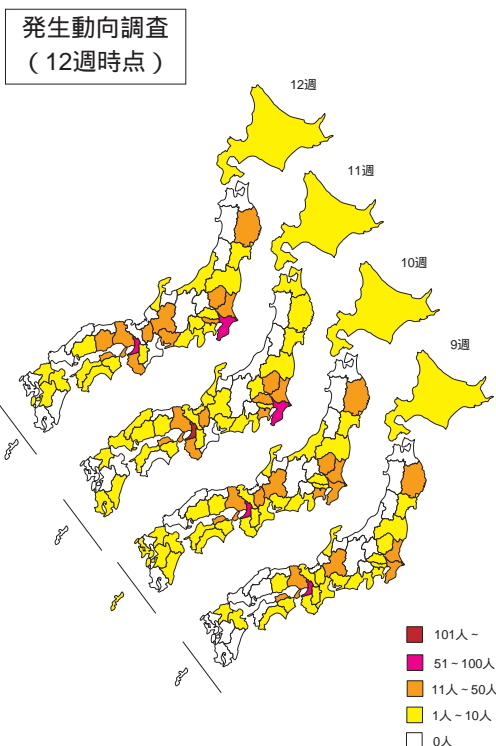
2000年第12週(3月20日～3月26日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は471で、定点当たり報告数は0.16である。2000年第1週からの累積患者数は3,273、性別内訳は男1,821、女1,452とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満442(うち6ヶ月未満48)、1歳801、2歳376、3歳269、4歳206、5～9歳701、10～19歳426、20歳以上52となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は26で、年齢階級別では、～19歳4、20～24歳10、25～29歳8、30～34歳4、35歳～が0となっている。

今年の麻疹流行曲線(15ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特別大きな流行ではないが、98、99年よりは定点当たり報告数は多くなっている。現在のところ、都道府県別では、以下の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、香川県、兵庫県、岐阜県で患者報告数が多くなっている。

世界の主要諸国における麻疹ワクチンの接種率は90%以上になっているにも関わらず、日本では平均約77%にとどまっている(平成12年予防接種副反応研究班)。年間麻疹発症者を100人以内にとどめるなど、厳しい麻疹コントロールを行っている米国では、日本はドイツやフィリピンとともに「麻疹輸出国」のひとつと言われている。(1998年にはアラスカに、今年に入ってアメリカ本土に輸出例がでている。)

麻疹に罹患した場合、肺炎や脳炎による合併症による小児の死亡率は高く、我が国でも1～2%にのぼるといふ報告がある。麻疹の患者発生ピークは4～5月であり、今後の疾患の動向に注意が必要である。



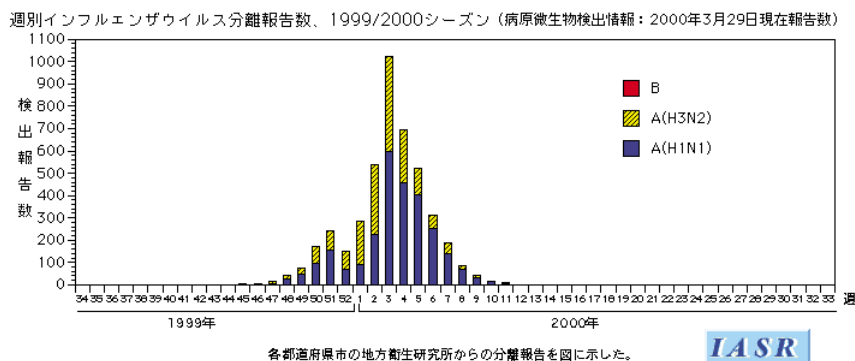


病原体情報

インフルエンザ 1999/2000シーズン*(2000年3月29日現在報告分)

病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、A/香港型ウイルス(H3N2)は1,719、A/ソ連型ウイルス(H1N1)は2,700とソ連型の分離が多くなっている。今シーズンのB型分離報告は広島県、福岡市、仙台市、大阪市より1件ずつ計4件である。

*1999/2000シーズンは1999年第34週(8/22-8/28)から。

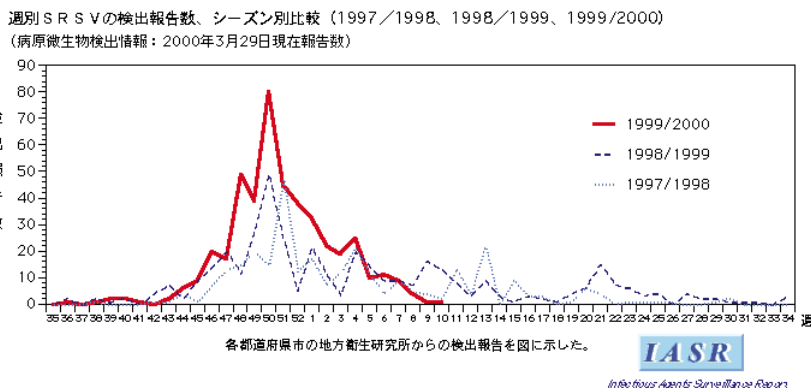
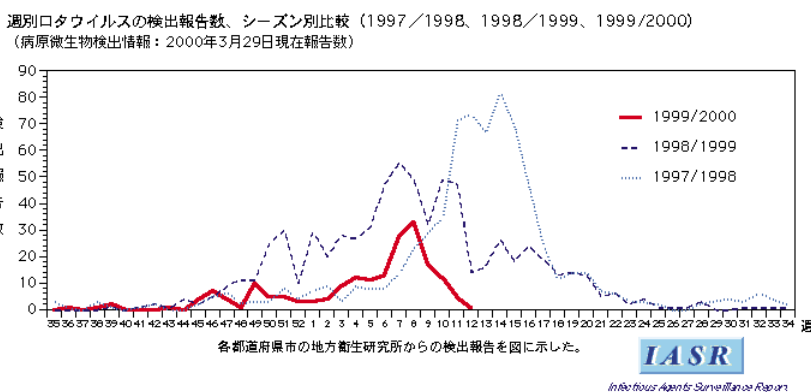


感染性胃腸炎 1999/2000シーズン* SRSVおよびロタウイルス 検出報告(2000年3月29日現在)

今シーズンのSRSV検出総数は446件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少傾向にある。代わって、ロタウイルスの検出報告は徐々に報告数が増加傾向にある。

今シーズンのロタウイルス検出総数は191件で、2000年に入って大阪府、香川県、大阪市、岩手県、新潟県、北九州市などから計147件の検出報告があった。

*1999/2000シーズンは1999年第35週(8/29-9/4)から。



IASR 病原微生物検出情報月報 からの速報

日本のエイズ患者・HIV感染者の状況

(平成11年12月27日～平成12年2月27日)

厚生省保健医療局エイズ疾病対策課

平成12年3月28日

エイズ動向委員会柳川委員長コメント(要旨)

1. 今回の報告期間は平成11年12月27日～平成12年2月27日までの約2カ月であり、患者数は法定報告43件(前回42件)、任意報告1件(前回2件)、感染者数は44件(前回91件)である。
2. 前回報告(平成11年11月1日～12月26日)と今回の報告とを比較すれば、今回報告の特徴は、
(1)患者数は42件から43件とほぼ同数である。
(2)感染者数は91件から44件と減少した。減少の主なものは日本人男性であった。
3. 今回報告の感染者の減少は過去2年間の動向を見ると、単純な減少とは考えにくく、感染者が検査を受けていない可能性が懸念される。したがって、今後個別施策層を踏まえた検査体制のいっそうの整備充実が必要である。

(病原微生物検出情報4月号-IASR vol.21 No.4, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

コンゴ民主共和国でのマールブルグ病 続報

WHO/CSR 2000年3月31日

コンゴで発生しているマールブルグ病に関して検査を担当している南アフリカの国立ウイルス研究所から最終結果の報告があった。その結果では3月21日に報告した6例の疑い患者のうち4例が陽性であった。1999年11月以来の感染患者数は16例となり、そのうちの12例はウイルス学的な検査で陽性が確認されており、残り4例は検査ができなかったため、疑い例(suspect case)となっている。コンゴでのマールブルグ病の活動性は依然持続しており、さらなる症例の報告が続いている。それらの症例の検体は南アフリカの国立ウイルス研究所へ送付されている。コンゴ保健省、WHO、国境なき医師団がより強力な予防、制圧策を実施している。

デング熱/デング出血熱 東ティモール

WHO Office Dili 2000年4月1日

デング熱が多発する雨期の東ティモールに、国連平和維持軍、国連機関、様々な国際非政府援助機関の関係者が多く滞在している。かれらの多くはデング熱に免疫が無いため帰国した人のなかで、多くのデング熱や、わずかではあるがデング出血熱も報告されている。軍の報告では、昨年9月末から今年2月初旬までに228例が血清学的にデング熱と診断されており、その発生ピークは1月であった。Darwin(オーストラリア)の疾患対策センターでは、同時期に東ティモールから帰国した人の中で、56例のデング熱患者を報告している。ここでも発症のピークは1月であった。



血清診断が広く使われているわけではないので、一般人での発症率を推測することは困難である。東ティモールの保健機関からは、2月以降7例のデング出血熱患者が報告されている。そのうち6例が10歳以下の小児であり、35歳の男性が1例含まれている。4例がDiliからの報告で、2例はBobonaro地区から報告されている。媒介蚊であるネツタイシマカ、ヒトスジシマカを駆除することを中心としたデング熱対策が、暫定政府保健当局を中心にして行われている。



感染症の話

ジアルジア症

ジアルジア症は *Giardia lamblia* の感染によって引き起こされる下痢性疾患である。1999年4月1日から施行された「感染症新法」において、ジアルジア症は全医師に届け出が義務付けられた4類感染症(全数把握疾患)に指定されている。本症の感染経路はいわゆる糞-口感染で、人と人の接触や食品を介した小規模集団感染と飲料水を介した大規模な集団感染が知られている。*Giardia* の種名については混乱があり、ヒト由来株に関しては *G. lamblia* あるいは *G. intestinalis*、他の哺乳動物から分離株された同一形態種に対してはそれぞれ別名で報告されている。これまでの報告を総合的に判断すればこれらすべてを同一種とみなすべきで、命名規約上は *G. duodenalis* という種名に先取権があるとの考えがある。これらの考え方の根底には本原虫種が基本的に幅広い感染スペクトルを持つとの認識があるが、その一方ですべての分離株が常に広い感染性を示すものではないという認識もある。ちなみに、わが国では慣例的に *G. lamblia* を用いており、当面は形態的に *G. duodenalis* とみなされる原虫に対して一律に病原性があるものとして扱うこととしている。

疫学

ジアルジア症の感染者数は世界人口のうち数億人を占めるとされ、地球規模で見ればごくありふれた腸管系病原微生物である。世界中のほとんどの国で有病地を抱えているが、特に熱帯・亜熱帯に多く、有病率が20%を超える国も少なくない。わが国では戦後の動乱期(1949~1956年)に感染率が3~6%であったと記載されている。多くの伝染病が国内の衛生環境の改善、中でも上下水道の整備がもっとも大きな要因と考えられるがそれとともに姿を消していったことは周知のことである。ジアルジアの感染率も次第に低下し、今日の都市部での検出率は0.5%を下回る程度となっている。

感染のリスクファクタ - は海外、特に発展途上国への旅行と男性同性愛である。海外旅行での感染症例(旅行者下痢症)では赤痢菌、病原大腸菌や赤痢アメーバなどとの混合感染症例が少なくない。ところで、いままた水系感染による集団発生事例が先進諸国で問題となっている。これには都市化など社会形態の変化に伴った水環境の変化、すなわち水の再利用が進んだことが大きく影響している。

なお感染症新法施行後この1年間(平成11年4月-平成12年3月)の我が国における本症の届け出数は63例であり、そのほとんどは散发例である。このうち65%が海外での感染と推定されている。

病原体

ジアルジア ランブリア(*Giardia lamblia*)、別名ランブル鞭毛虫とも呼ばれる。鞭毛虫類に属する原虫で、その生活史は栄養型と嚢子より成る。栄養型虫体は左右対称の洋ナシ型で、長径10 - 15 μm 、短径6 - 10 μm 程度の大きさである。猿の面容に似た形態を有するためモンキ - フェイスとも形容される。虫体腹部の前半部は腸の粘膜などへ吸着するための器官である吸着盤が発達している。その他、常時2核であること、4対の鞭毛を持つなど栄養型は特徴的な形態を有している。経口的に摂取された嚢子は胃を通過後に速やかに脱嚢して栄養型となり、十二指腸から小腸上部付近に定着する。時に寄生は胆道から胆嚢に及ぶことがある。嚢子は長径8 - 12 μm 、短径5 - 8 μm の長楕円形で、成熟嚢子は4核となり、他に軸子、鞭毛などが観察される。多くの場合、嚢子は糞便中に排泄された時点で成熟型となっており、感染性を有している。通常、ジアルジアの嚢子は外界の環境によく耐え、報告によって異なるがシストは水中で3カ月以上生存し、溜め水のなかで16日間は感染性が持続したという記録がある。人での実験では10～25個のシストの摂取により感染が成立したとの報告がある。



図1 *Giardia lamblia*の栄養型虫体
ギムザ染色像



図2 *Giardia lamblia*のシスト
a: 微分干渉像 b: コーン染色像

臨床症状

現在のわが国で見られるジアルジア感染者の多くは発展途上国からの帰国者(来日者)であり、特にインド亜大陸からの帰国者の下痢患者での検出率が高い。さらに、男性同性愛者間にも本原虫の感染が見られることがあり、最近ではHIV感染者に原虫が証明されたこともある。このジアルジア症は過去数十年間にわたってわが国では忘れ去られた感染症の一つであったが、免疫不全者の感染、水系感染による集団発生事例などから、重要な再興感染症の1つとしての認識が必要である。

ジアルジア症の主な臨床症状としては下痢、衰弱感、体重減少、腹痛、悪心や脂肪便などが挙げられる。有症症例では下痢が必発であり、下痢は非血性で水様ないし泥状便である。排便回数は一日20回以上から数回程度と様々であり、腹痛は伴う例と伴わない例が相半ばし、多くの症例で発熱は見られない。感受性は普遍的であるが、成人より小児の方が高い感受性を示す。なお、分泌型IgA低下症や低ガンマグロブリン血症をもつ患者に発症した場合には臨床症状が激しく、難治性であり、かつ再発性である。感染者の多くは無症状で便中に持続的に嚢子を排出している嚢子保有者(cyst carrier)であるが、感染源としてはむしろ重要である。

病原診断

診断は患者の糞便(下痢便)から顕微鏡下に本原虫を証明することによる。さらに、原因不明の下痢症、脂肪便、あるいはその他の腹部症状を精査する一環として十二指腸液や胆汁を採取し、原虫の検査が行われることもある。糞便中に見られる原虫の形態は、水様便では栄養型が、泥状便や有形便ではシストを検出することが多い。検査方法は通常の検便か、遠心沈殿法で得られた沈渣をヨード・ヨードカリ染色して観察することで比較的容易に検出できる。海外では診断用の蛍光抗体試薬が市販されている。なお、栄養体を検出する場合は希釈液には生理食塩水を用いる。



図3 検便材料中のシスト(微分干渉顕微鏡像) 標本中に均一に分布せず、この標本では粘液中に偏在しているのがわかる。矢印の先にシストが観察される。

治療・予防

ジアルジアの治療にはメトロニダゾールやチニダゾールなどニトロイミダゾール系の薬剤が用いられる。これらはわが国では抗トリコモナス薬として薬価収載されており、いまのところ本症に対しては健康保険の適用外である。

ジアルジア症は典型的な糞-口感染によって起こる。したがって、シストで汚染された食品や飲料水を介して伝播する。シストは感染力が強いため、排泄者に対しては排便後の手洗いをよく指導する。一般に、シスト排出者は無症状か下痢症状があっても軽微であり、身の清潔が保てるため隔離の必要はない。また、シストは水中で数カ月程度は感染力が衰えず、小型であるため浄水場における通常の浄水処理で完全に除去することは困難とされる。塩素消毒にも抵抗性を示す。したがって、HIV感染者をはじめとする免疫機能低下症は、日常生活の上でナマ物や煮沸消毒されていない水道水の摂取などには注意すべきである。

感染症新法の中でのジアルジア症の取扱い

ジアルジア症は4類感染症(全数把握疾患)に指定されており、本症を診断した医師は7日以内に保健所への届け出が求められている。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下の方法によって病原体診断がなされたもの。

- ・病原体の検出

例:糞便または十二指腸液などから原虫の証明(鏡検)など

(国立感染症研究所 寄生動物部 遠藤卓郎)



読者のコーナー

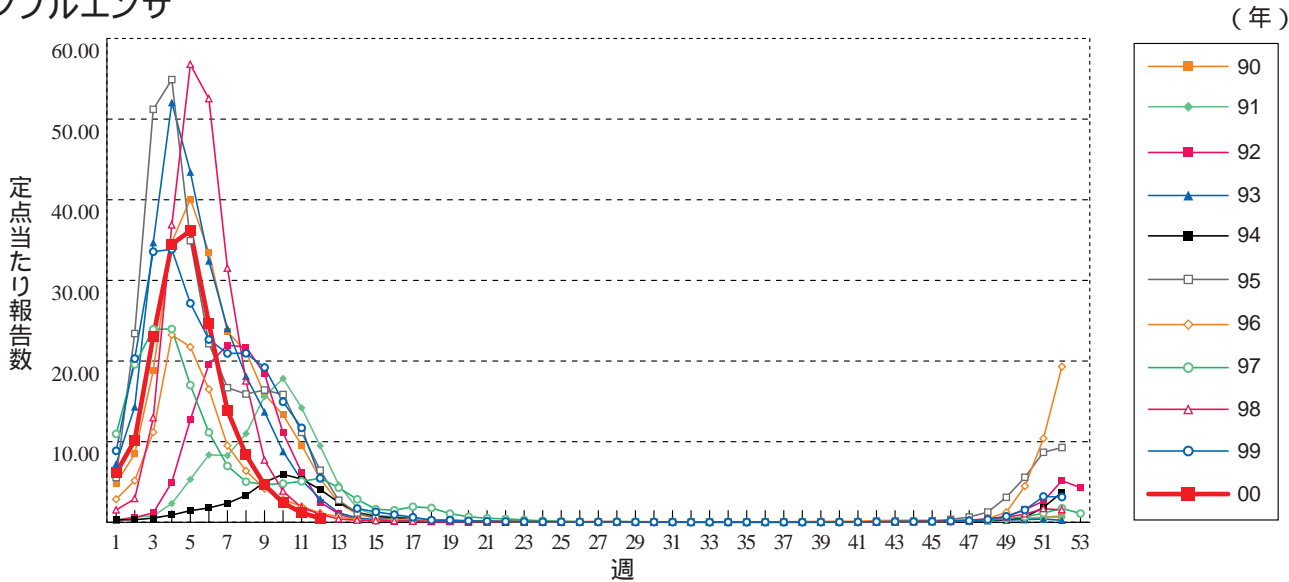
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

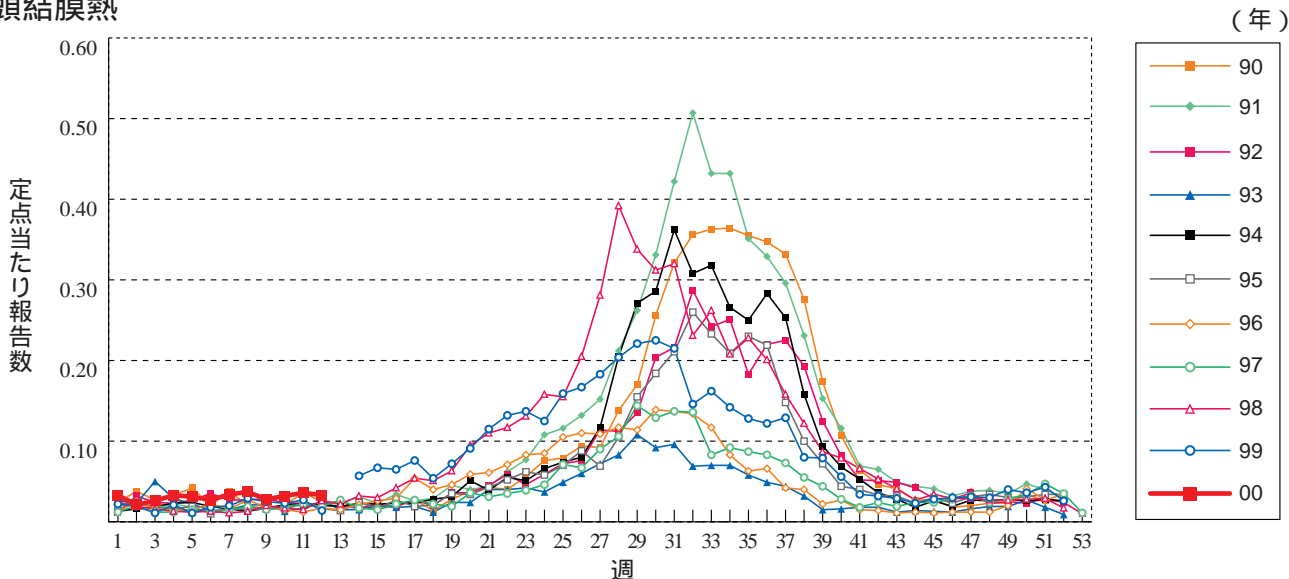


グラフ総覧(12週)

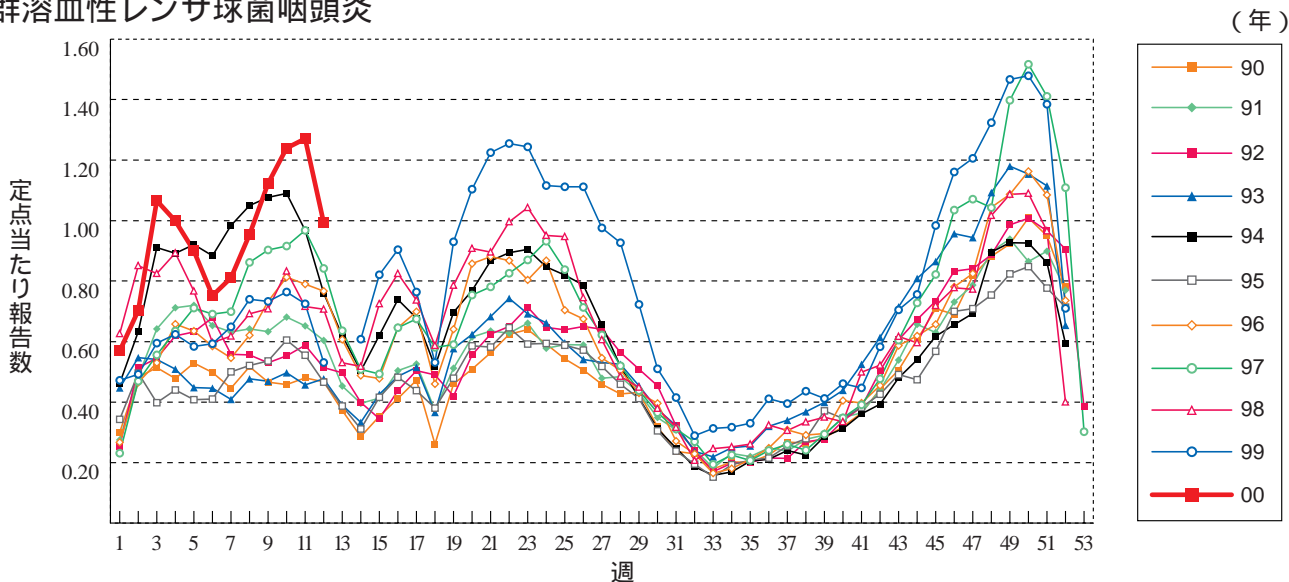
インフルエンザ



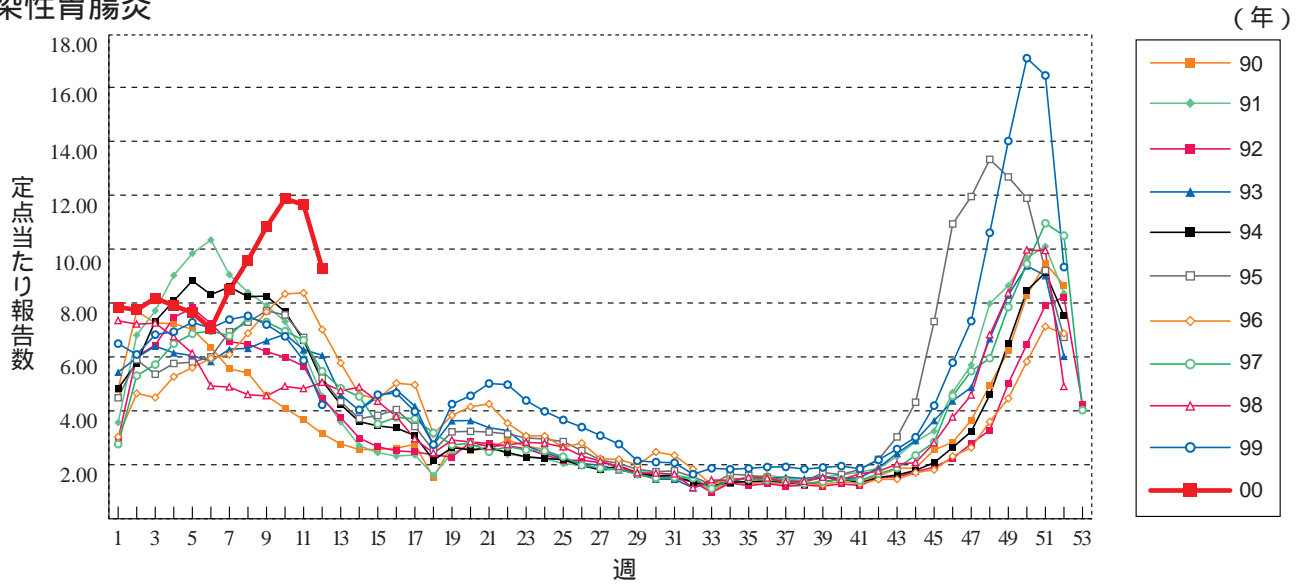
咽頭結膜熱



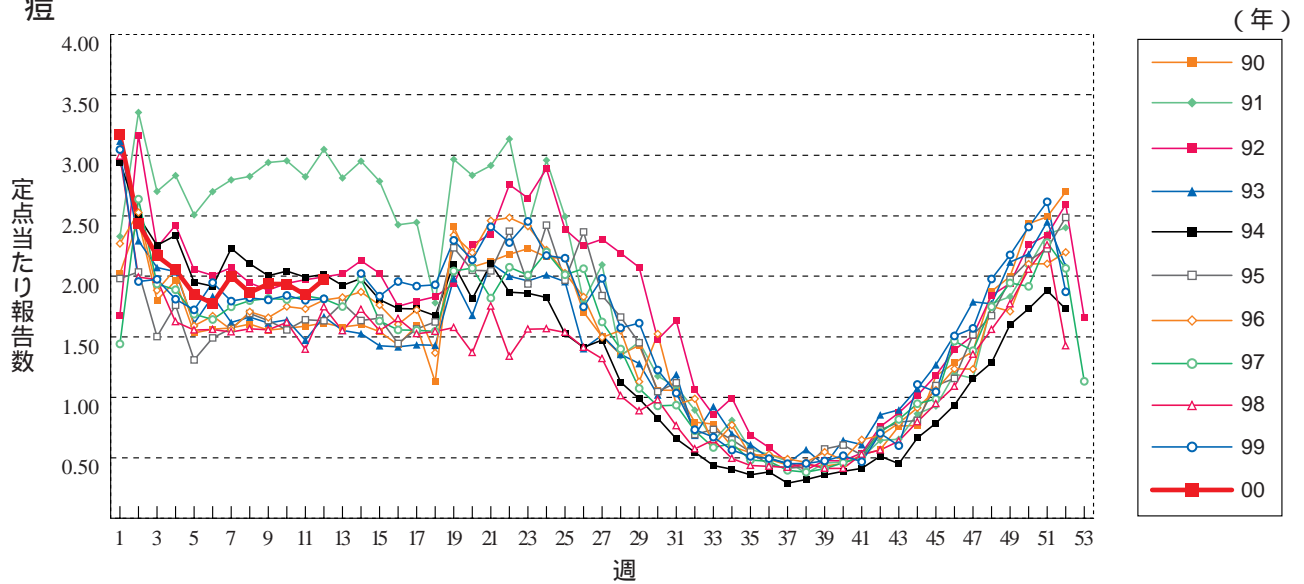
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



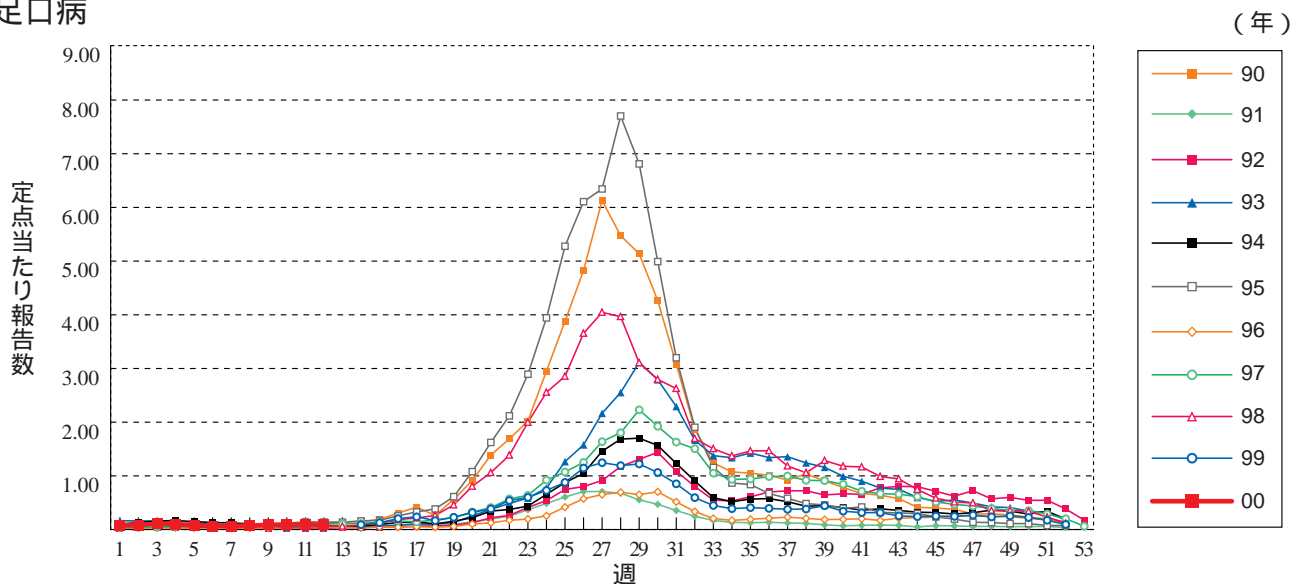
感染性胃腸炎



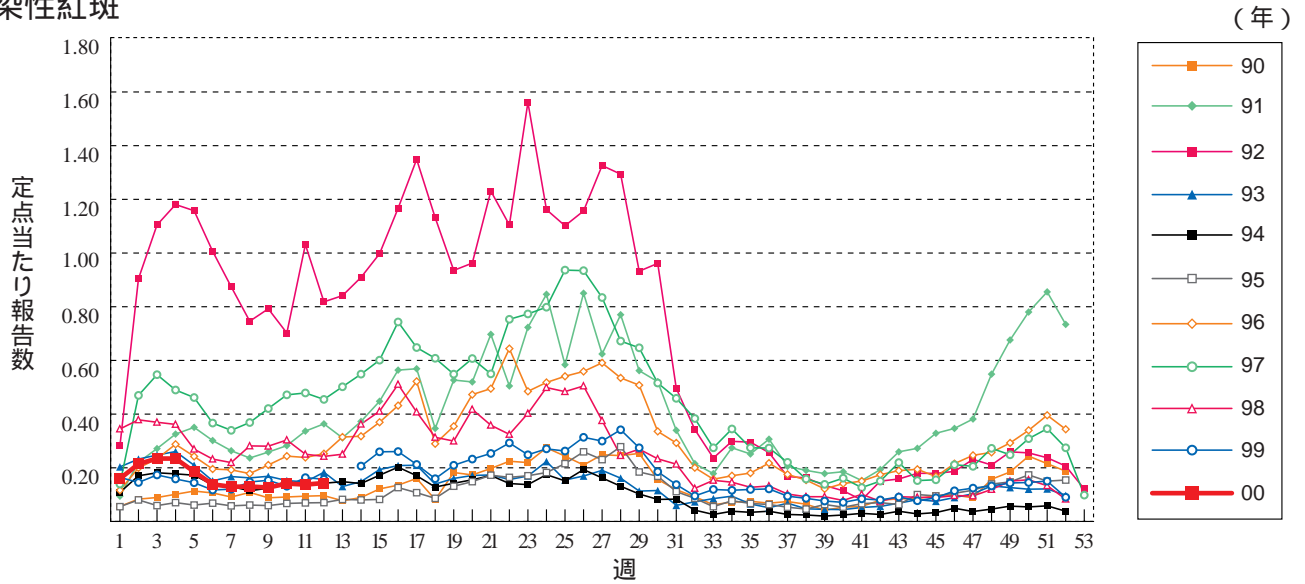
水痘



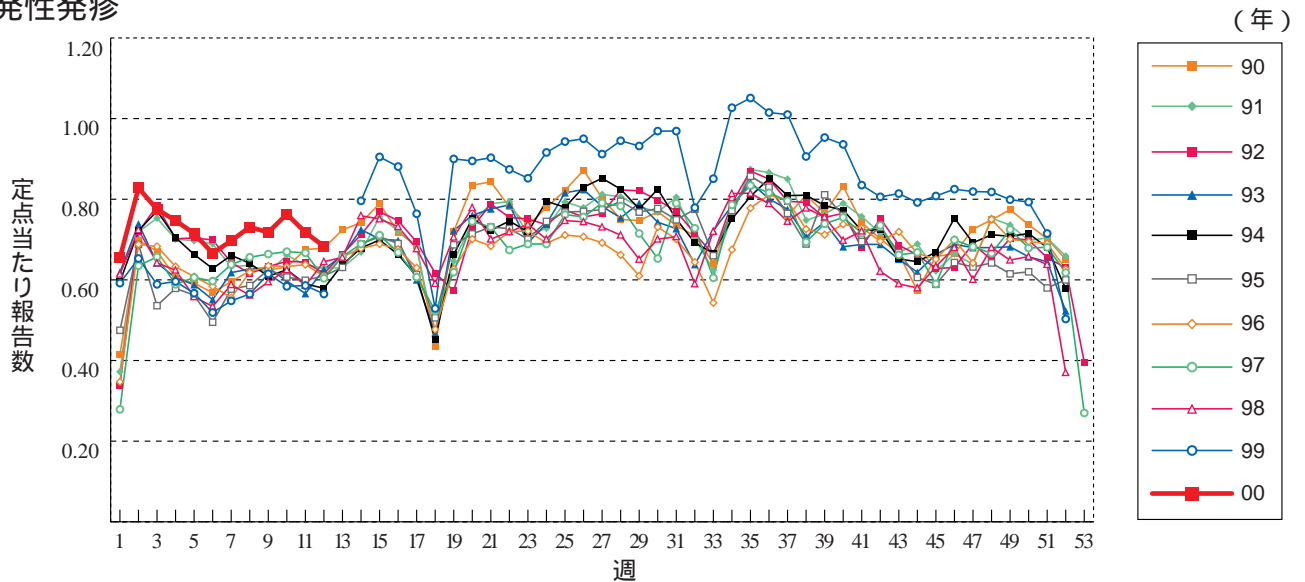
手足口病



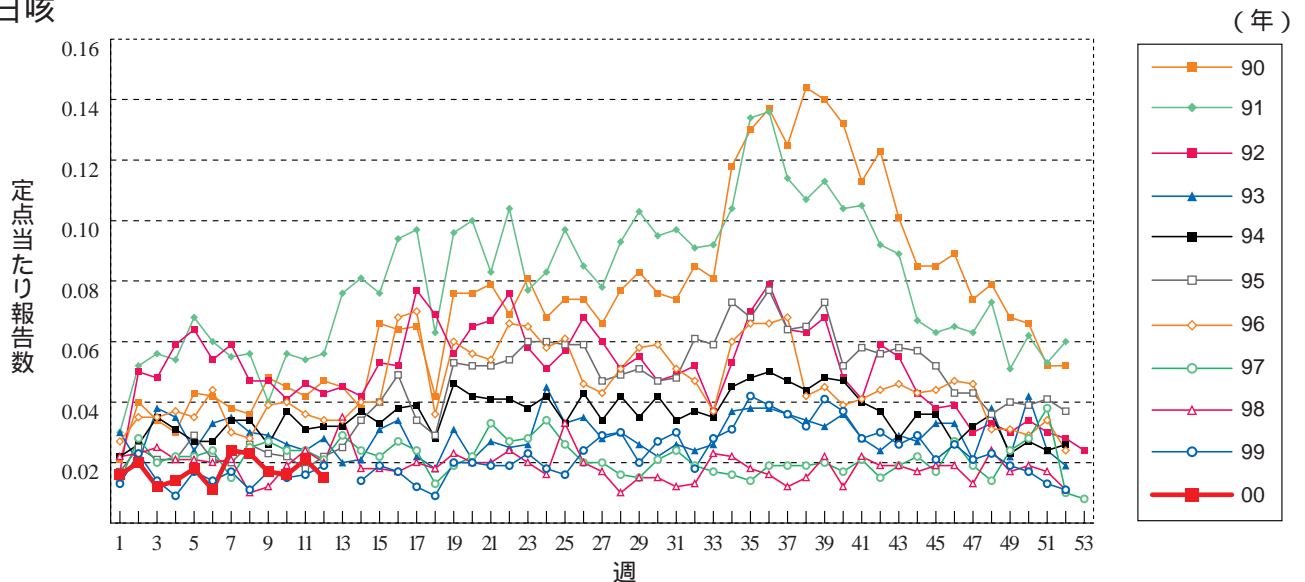
伝染性紅斑



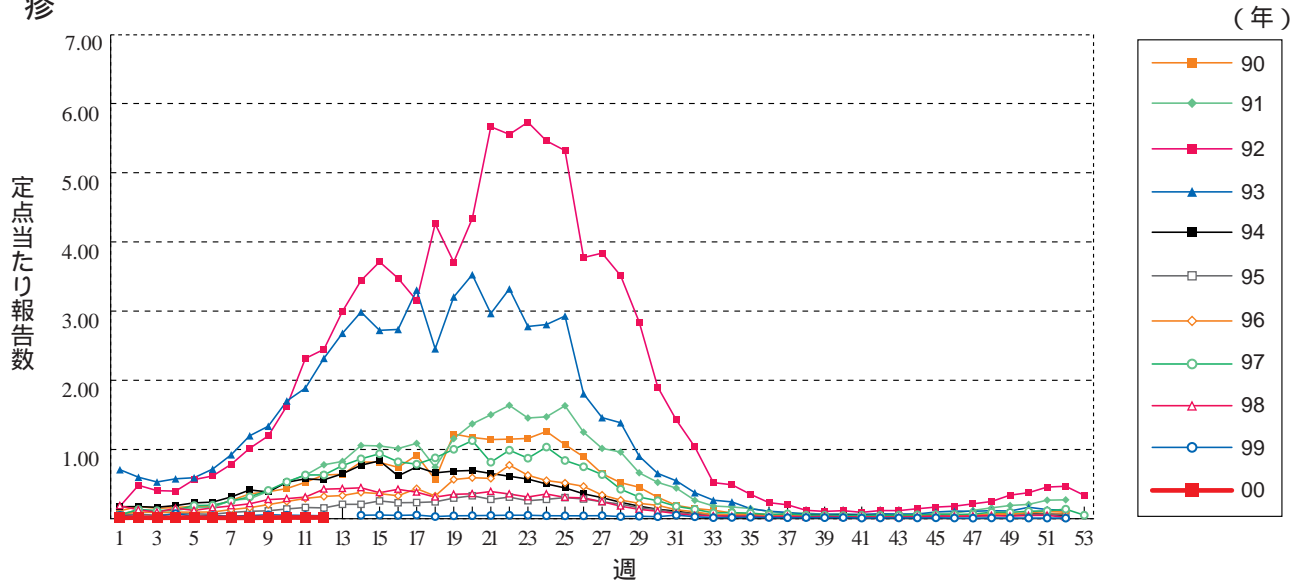
突発性発疹



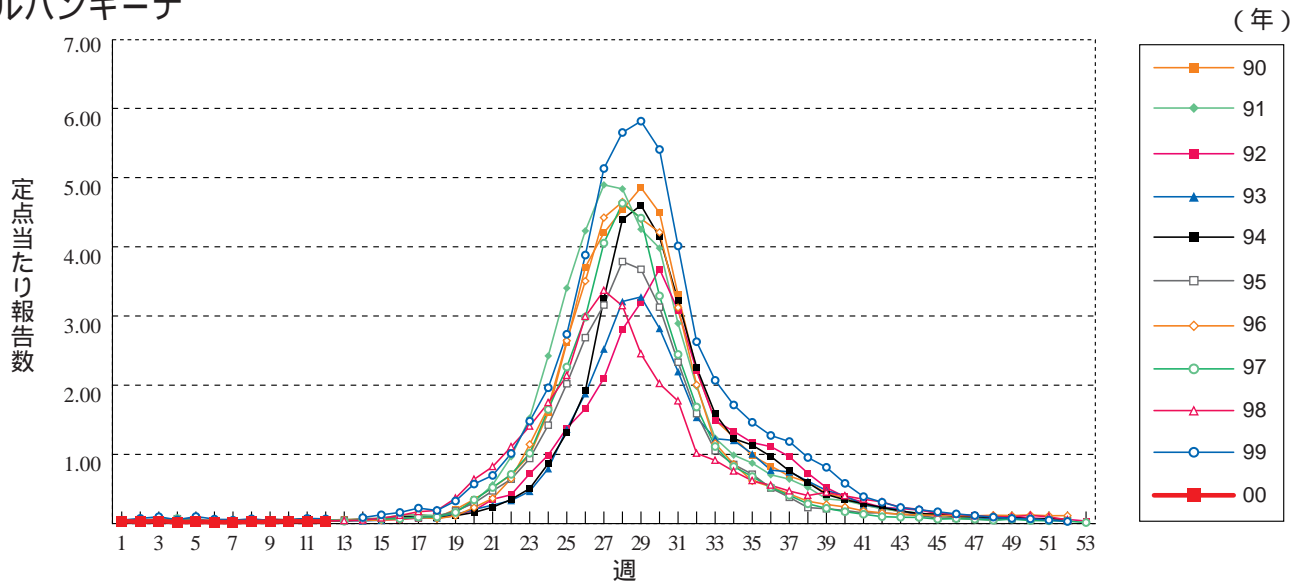
百日咳



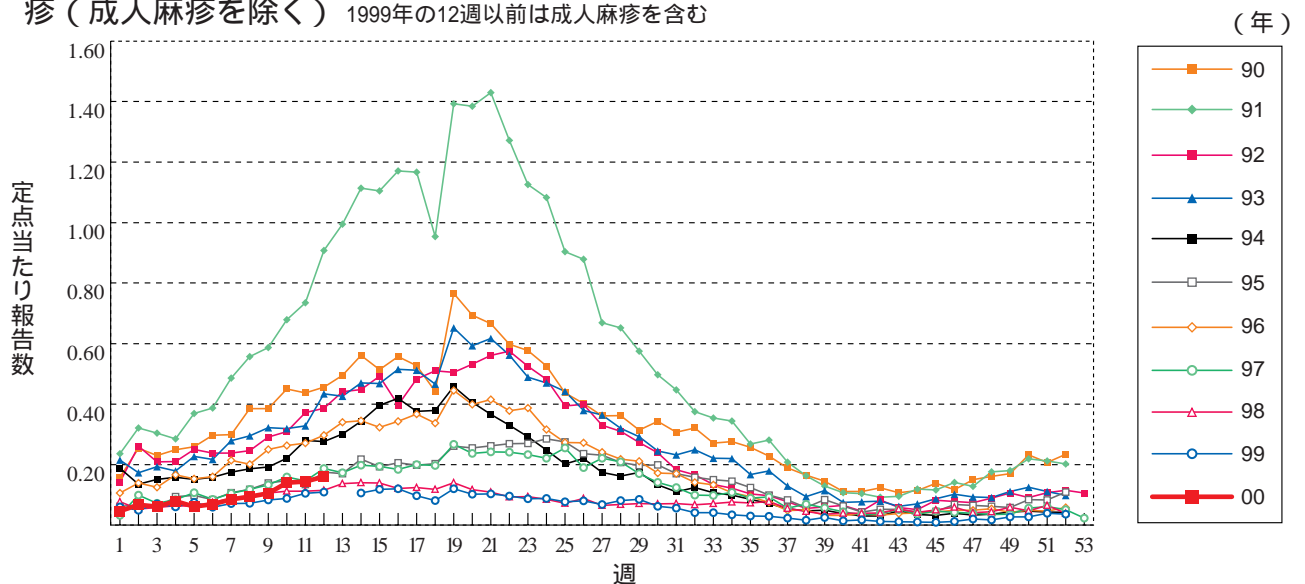
風 疹



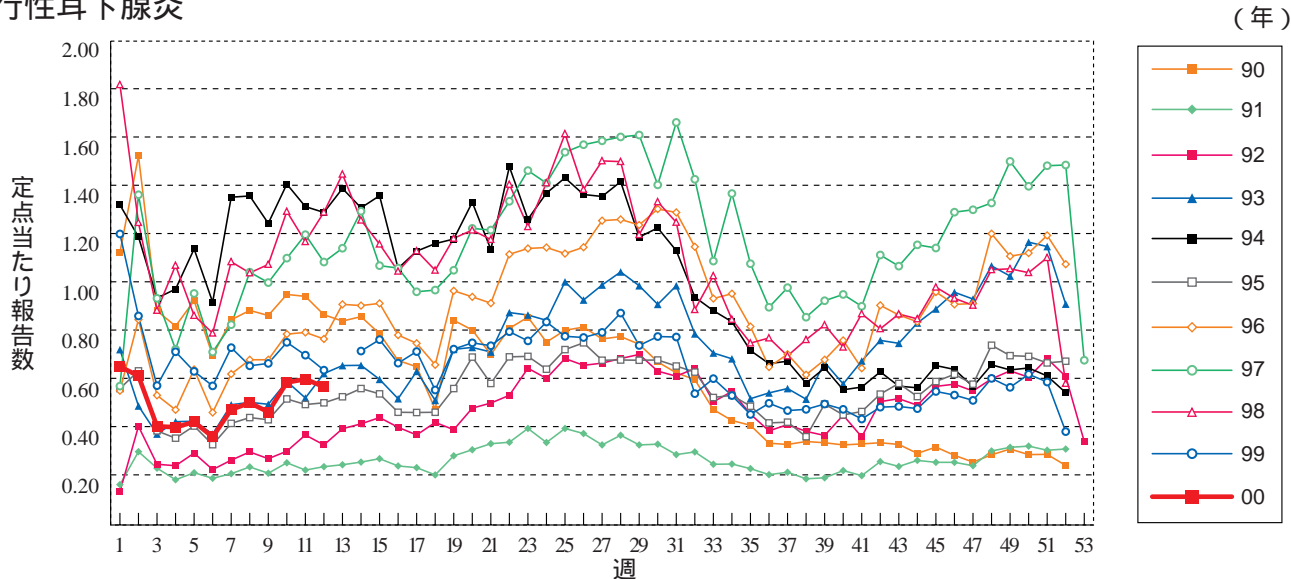
ヘルパンギーナ



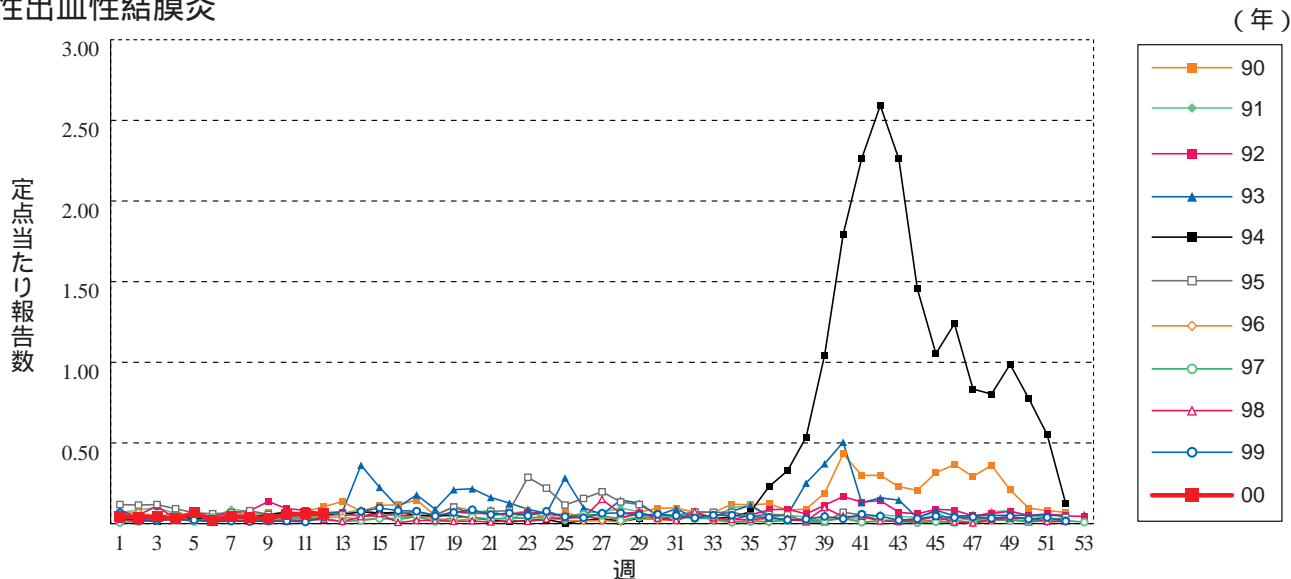
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



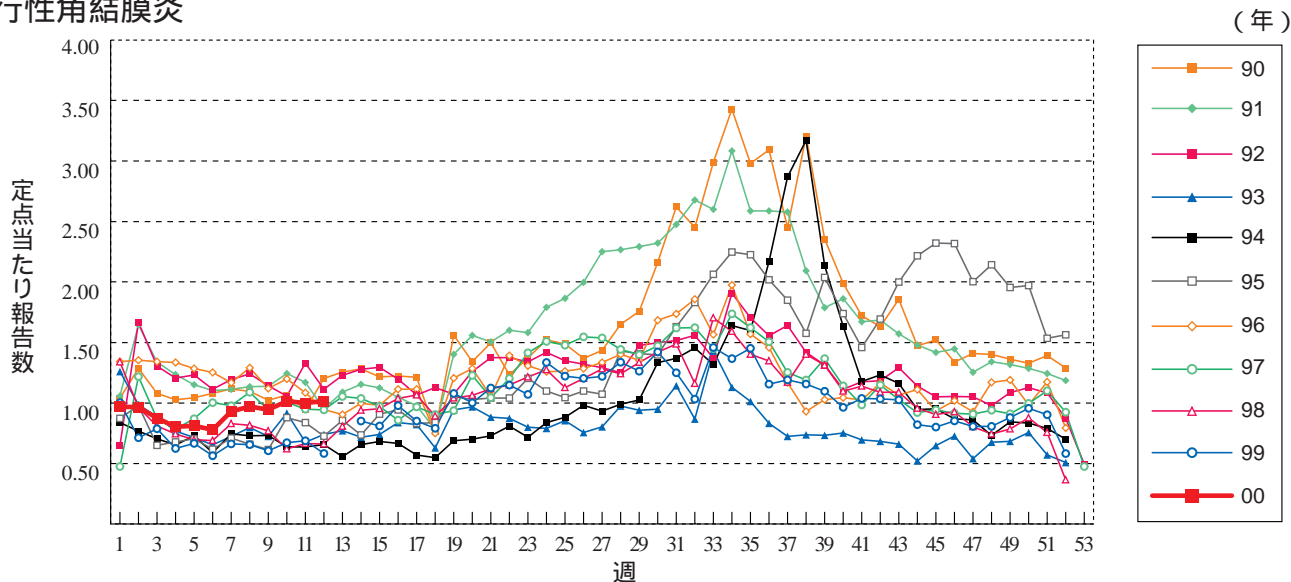
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

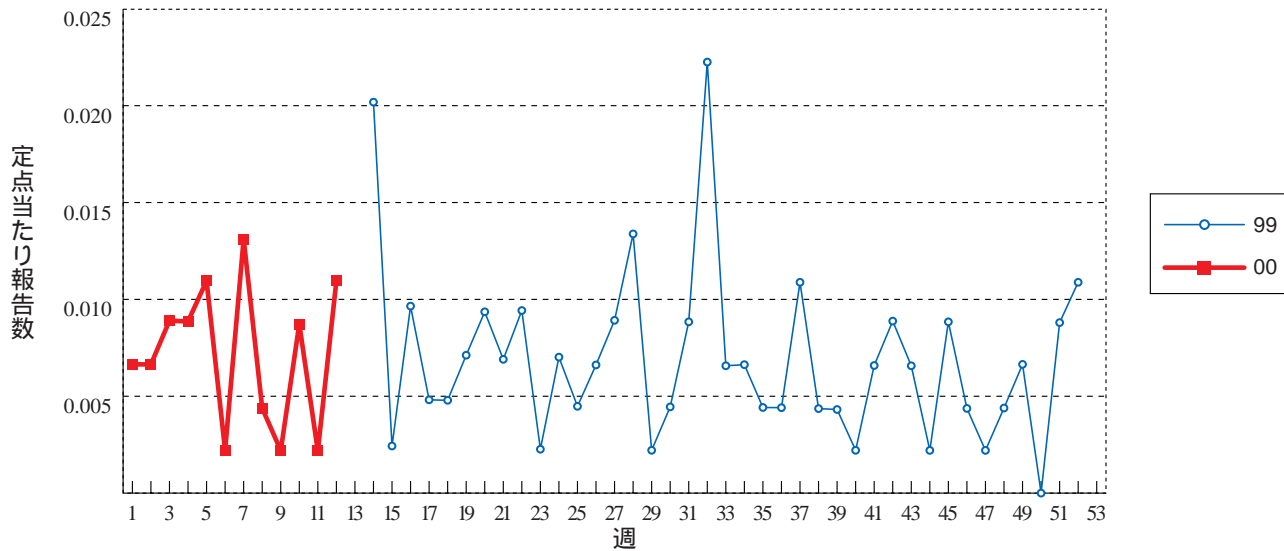


流行性角結膜炎



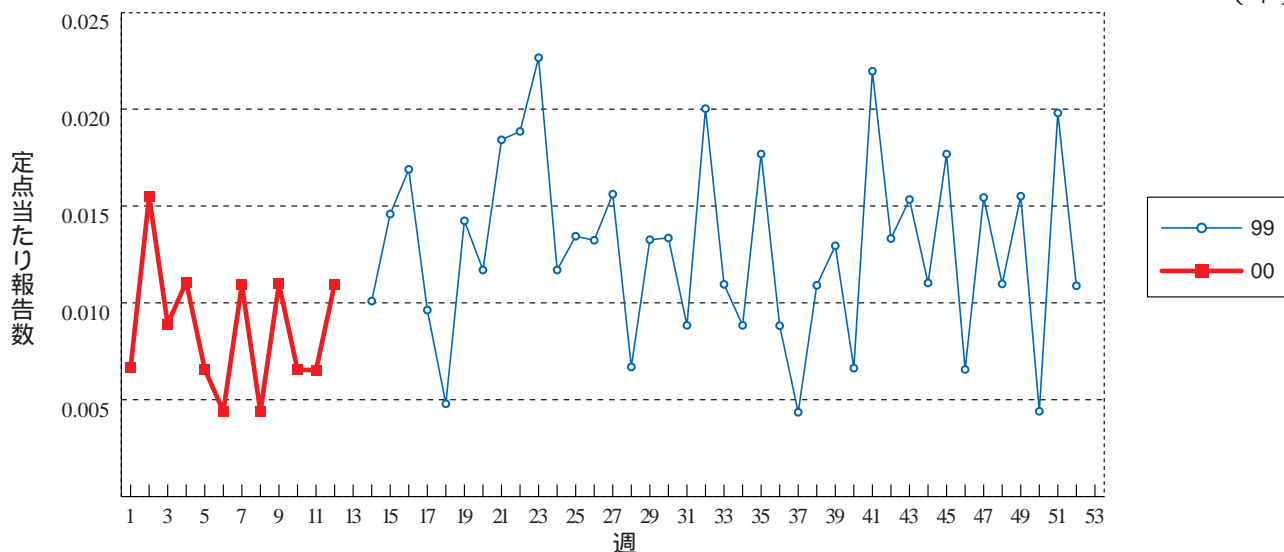
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



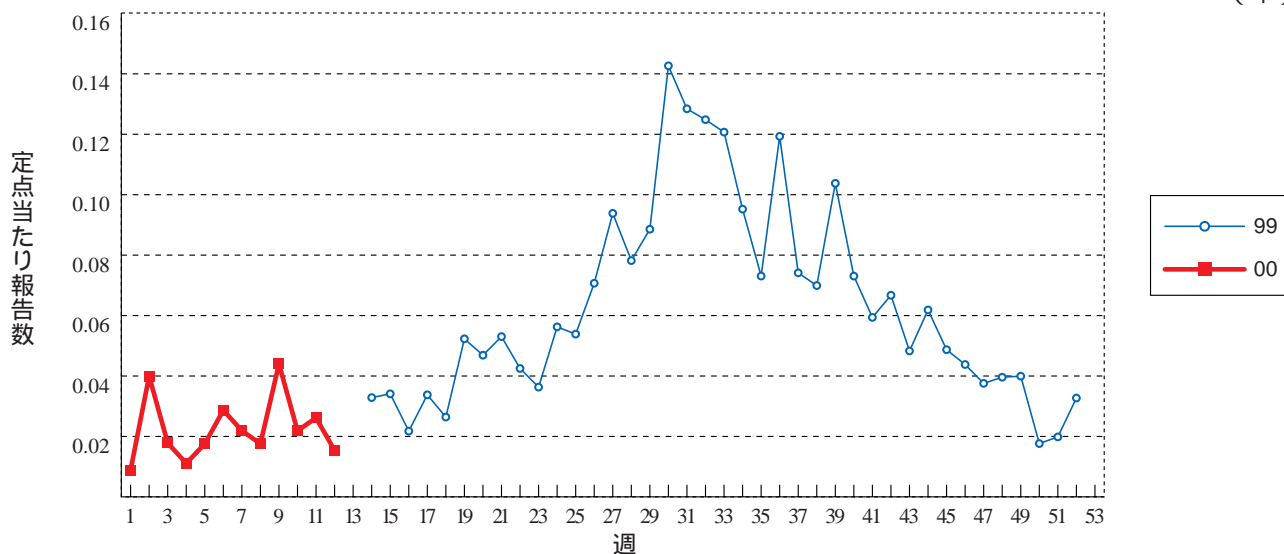
細菌性髄膜炎

(年)



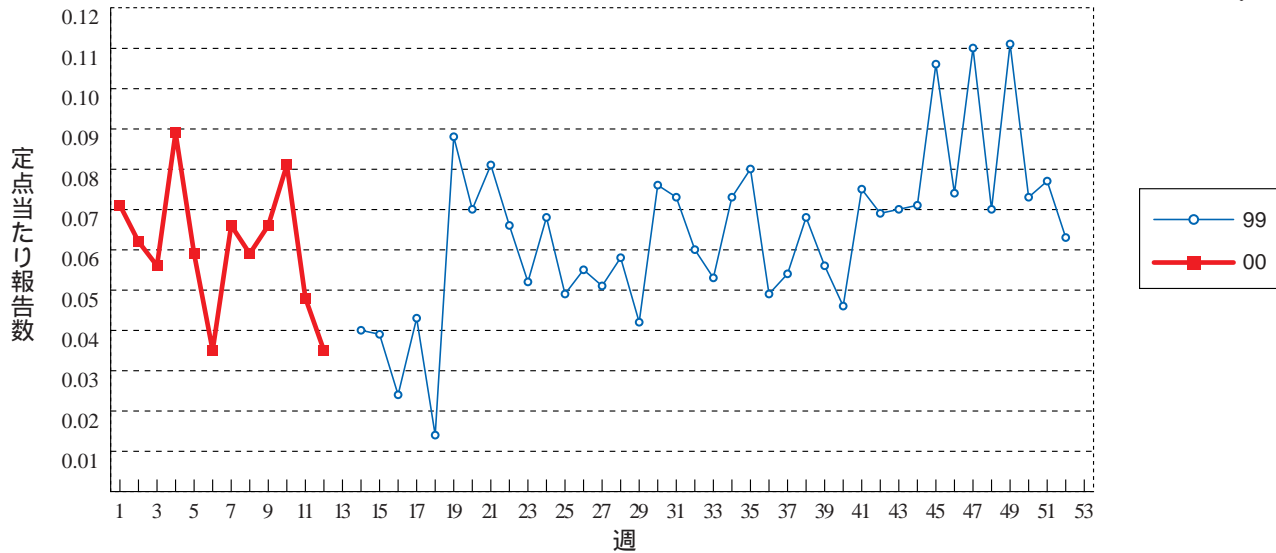
無菌性髄膜炎

(年)



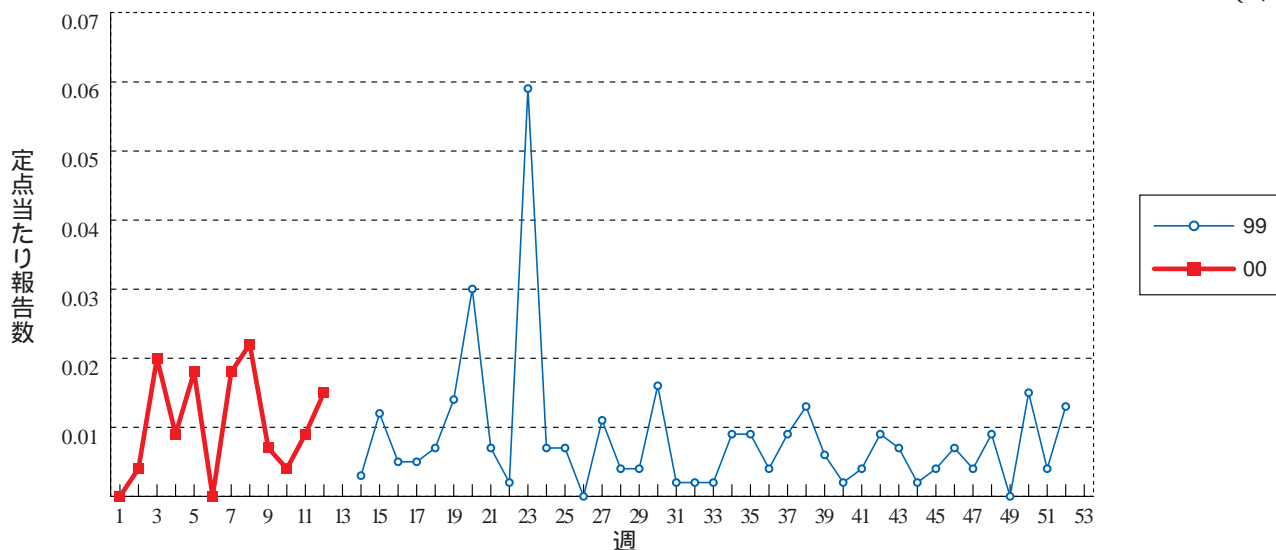
マイコプラズマ肺炎

(年)



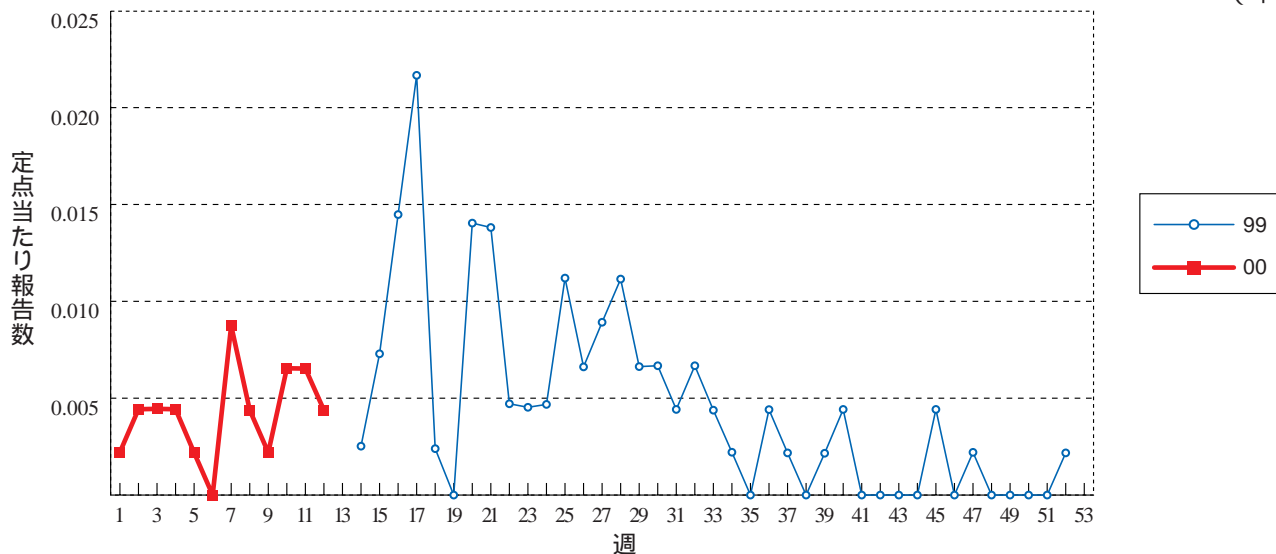
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





12週 of データ

注) 表中の報告数は3月31日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年12週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	17	165	2	13	-	1		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	38	1	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	11	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年12週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	4	174	7	76	-	2	-	-	-	3	-	-	5	254
北海道	-	-	-	-	-	9	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
秋田県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	10	3	24	-	-	-	-	-	1	-	-	1	29
神奈川県	-	-	-	-	-	17	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	1	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	1	9	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
兵庫県	-	-	-	-	1	8	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年12週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	25	-	13	10	137	-	-	2	15	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	8	-	-	-	3	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	-	5	50	-	-	1	2	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	11	-	-	1	6	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年12週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	-	-	-	-	2	168
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	32
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年12週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	10	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	2	21
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
東京都	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年12週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2295	0.51	98	0.03	2916	0.99	27384	9.32	5804	1.98	252	0.09	419	0.14	2007	0.68	43	0.01
北海道	198	0.87	-	-	148	1.03	414	2.88	125	0.87	5	0.03	36	0.25	78	0.54	1	0.01
青森県	28	0.44	-	-	35	0.85	105	2.56	70	1.71	1	0.02	10	0.24	18	0.44	2	0.05
岩手県	97	1.56	2	0.05	32	0.84	116	3.05	44	1.16	3	0.08	-	-	27	0.71	-	-
宮城県	59	0.61	3	0.05	89	1.51	556	9.42	121	2.05	1	0.02	29	0.49	48	0.81	-	-
秋田県	43	0.78	-	-	66	1.89	268	7.66	46	1.31	2	0.06	2	0.06	25	0.71	-	-
山形県	13	0.28	-	-	57	1.97	325	11.21	81	2.79	5	0.17	18	0.62	23	0.79	-	-
福島県	11	0.14	-	-	36	0.75	325	6.77	89	1.85	-	-	16	0.33	24	0.50	-	-
茨城県	22	0.20	-	-	84	1.17	561	7.79	92	1.28	3	0.04	4	0.06	36	0.50	-	-
栃木県	21	0.31	1	0.02	108	2.45	363	8.25	91	2.07	1	0.02	1	0.02	38	0.86	1	0.02
群馬県	34	0.34	1	0.02	109	1.76	544	8.77	133	2.15	2	0.03	6	0.10	48	0.77	-	-
埼玉県	67	0.38	1	0.01	166	1.48	1413	12.62	268	2.39	6	0.05	6	0.05	83	0.74	2	0.02
千葉県	50	0.24	1	0.01	213	1.59	1408	10.51	340	2.54	1	0.01	22	0.16	75	0.56	5	0.04
東京都	51	0.29	2	0.01	70	0.49	1019	7.18	165	1.16	2	0.01	18	0.13	74	0.52	-	-
神奈川県	91	0.27	10	0.05	187	0.91	1936	9.40	365	1.77	10	0.05	42	0.20	166	0.81	-	-
新潟県	115	1.16	7	0.12	136	2.27	583	9.72	133	2.22	2	0.03	43	0.72	47	0.78	-	-
富山県	64	1.33	-	-	51	1.76	287	9.90	57	1.97	1	0.03	3	0.10	25	0.86	1	0.03
石川県	46	0.96	1	0.03	43	1.48	406	14.00	65	2.24	-	-	-	-	17	0.59	-	-
福井県	1	0.03	4	0.18	57	2.59	473	21.50	57	2.59	-	-	-	-	20	0.91	1	0.05
山梨県	6	0.15	-	-	22	0.88	123	4.92	23	0.92	1	0.04	2	0.08	13	0.52	-	-
長野県	88	1.09	2	0.04	41	0.79	700	13.46	54	1.04	1	0.02	19	0.37	39	0.75	-	-
岐阜県	38	0.45	2	0.04	45	0.85	386	7.28	48	0.91	1	0.02	2	0.04	20	0.38	-	-
静岡県	94	0.69	3	0.03	70	0.81	1058	12.30	309	3.59	9	0.10	8	0.09	74	0.86	2	0.02
愛知県	87	0.45	7	0.04	123	0.68	1486	8.16	270	1.48	10	0.05	15	0.08	111	0.61	1	0.01
三重県	23	0.33	5	0.11	52	1.16	759	16.87	101	2.24	-	-	4	0.09	51	1.13	1	0.02
滋賀県	9	0.23	-	-	13	0.52	205	8.20	33	1.32	-	-	2	0.08	12	0.48	-	-
京都府	72	0.57	-	-	42	0.55	682	8.97	89	1.17	5	0.07	7	0.09	42	0.55	-	-
大阪府	72	0.26	7	0.04	86	0.46	1115	5.90	291	1.54	42	0.22	27	0.14	123	0.65	-	-
兵庫県	23	0.12	12	0.09	73	0.57	1430	11.17	294	2.30	3	0.02	10	0.08	95	0.74	3	0.02
奈良県	15	0.27	-	-	26	0.74	343	9.80	71	2.03	4	0.11	2	0.06	23	0.66	-	-
和歌山県	17	0.33	-	-	20	0.63	207	6.47	87	2.72	2	0.06	5	0.16	15	0.47	-	-
鳥取県	29	1.00	2	0.11	70	3.68	325	17.11	30	1.58	1	0.05	-	-	16	0.84	-	-
島根県	92	2.49	1	0.04	14	0.61	201	8.74	61	2.65	-	-	-	-	11	0.48	-	-
岡山県	26	0.32	3	0.06	33	0.61	346	6.41	97	1.80	-	-	5	0.09	20	0.37	-	-
広島県	14	0.12	3	0.04	53	0.71	899	11.99	107	1.43	2	0.03	8	0.11	42	0.56	2	0.03
山口県	38	0.54	-	-	41	0.84	575	11.73	109	2.22	1	0.02	6	0.12	38	0.78	-	-
徳島県	60	1.58	-	-	12	0.52	167	7.26	54	2.35	2	0.09	-	-	13	0.57	-	-
香川県	33	0.65	-	-	19	0.59	231	7.22	79	2.47	-	-	2	0.06	28	0.88	2	0.06
愛媛県	10	0.16	2	0.05	31	0.79	582	14.92	121	3.10	-	-	1	0.03	36	0.92	-	-
高知県	49	1.00	-	-	28	0.90	327	10.55	44	1.42	-	-	1	0.03	18	0.58	-	-
福岡県	68	0.44	2	0.03	73	0.94	1021	13.09	268	3.44	31	0.40	10	0.13	86	1.10	3	0.04
佐賀県	11	0.28	-	-	24	1.04	230	10.00	77	3.35	4	0.17	3	0.13	33	1.43	1	0.04
長崎県	23	0.33	1	0.02	12	0.27	264	6.00	86	1.95	5	0.11	1	0.02	16	0.36	-	-
熊本県	57	0.70	-	-	33	0.67	509	10.39	107	2.18	45	0.92	6	0.12	46	0.94	7	0.14
大分県	35	0.60	2	0.06	44	1.22	504	14.00	81	2.25	3	0.08	8	0.22	25	0.69	3	0.08
宮崎県	67	1.12	8	0.22	78	2.11	795	21.49	133	3.59	-	-	3	0.08	41	1.11	3	0.08
鹿児島県	111	1.16	-	-	34	0.59	761	13.12	174	3.00	16	0.28	3	0.05	33	0.57	1	0.02
沖縄県	17	0.29	3	0.09	17	0.50	51	1.50	164	4.82	19	0.56	3	0.09	15	0.44	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年12週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	50	0.02	92	0.03	471	0.16	1679	0.57	37	0.06	629	1.02	5	0.01	5	0.01	7	0.02
北海道	-	-	2	0.01	6	0.04	76	0.53	1	0.03	9	0.31	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	15	0.37	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.05	1	0.03	20	0.53	12	0.32	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	2	0.03	2	0.03	10	0.17	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	-	-	7	0.20	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	7	0.24	-	-	8	1.00	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	10	0.21	10	0.21	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	-	-
茨城県	3	0.04	-	-	23	0.32	17	0.24	-	-	54	3.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	31	0.70	6	0.14	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	-	-	-	-	81	1.31	1	0.07	24	1.71	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	7	0.06	9	0.08	77	0.69	10	0.38	29	1.12	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.04	3	0.02	59	0.44	91	0.68	2	0.06	51	1.46	1	0.08	1	0.08	-	-
東京都	3	0.02	11	0.08	11	0.08	57	0.40	2	0.14	12	0.86	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	4	0.02	4	0.02	5	0.02	119	0.58	-	-	36	0.86	1	0.09	1	0.09	-	-
新潟県	1	0.02	2	0.03	1	0.02	23	0.38	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	2	0.07	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	1	0.03	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	4	0.18	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	2	0.08	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	-	-	20	0.38	-	-	21	2.10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	34	0.64	21	0.40	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	1	0.01	88	1.02	-	-	10	0.48	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	7	0.04	12	0.07	98	0.54	2	0.06	23	0.66	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	5	0.11	-	-	46	1.02	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.04	1	0.04	11	0.44	6	0.24	-	-	45	7.50	-	-	1	0.17	-	-
京都府	2	0.03	1	0.01	-	-	36	0.47	-	-	4	0.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	3	0.02	95	0.50	59	0.31	4	0.08	31	0.60	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	2	0.02	43	0.34	114	0.89	5	0.14	18	0.51	-	-	-	-	4	0.29
奈良県	-	-	2	0.06	3	0.09	26	0.74	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	21	0.66	13	0.41	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	26	1.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	8	0.35	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	-	-	15	0.28	28	0.52	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	1	0.01	1	0.01	81	1.08	-	-	27	1.35	1	0.05	-	-	1	0.05
山口県	-	-	3	0.06	-	-	73	1.49	1	0.11	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	1	0.04	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	2	0.06	46	1.44	22	0.69	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	4	0.10	2	0.05	16	0.41	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	2	0.06	32	1.03	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	2	0.03	2	0.03	55	0.71	-	-	29	1.61	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	2	0.09	1	0.04	-	-	33	1.43	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	24	0.55	4	0.50	23	2.88	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	5	0.10	1	0.02	68	1.39	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	3	0.08	2	0.06	3	0.08	-	-	14	2.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	6	0.16	3	0.08	-	-	48	1.30	1	0.25	10	2.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	-	-	-	-	11	0.19	-	-	6	1.00	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	2	0.06	-	-	2	0.06	-	-	10	1.00	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年12週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	16	0.04	7	0.02	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.40	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	-	-	4	0.33	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.20	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	1	0.13	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.17	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第12号 平成12年4月7日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 TEL：03-5285-1111
 FAX：03-5285-1129
 URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
 http://www.mhw.go.jp/
 <厚生省>
 http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。